

○キラリ音小っ子（音更町立音更小学校）

新年度になって役場の担当者から電話が入りました。

「音更小学校の子どもたちが、ごみを拾って届けてくれました」

実は、今回が初めてではないのです。

以前にも公園のごみを拾って届けてくれた高学年の児童がいました。

それを全校朝会で紹介したところ、一石を投じた波紋のように、不定期ですが、このような行動が広がってきました。

特に、今年の卒業式前後から春休みにかけて、複数の学年、複数の児童が自宅から学校などの目的地まで、あるいは、普段遊んでいる公園で落ちていたごみを拾い、役場の担当者に届けてくれたのです。

雪解けとともに表出してきた「大量のごみを拾ってくれました」との報告もありました。

これからも、「気がついたときに、気がついた子が拾う」＝音更小学校の伝統、となるよう善行が広がってほしいと期待しています。

追伸

最近、掃除当番ではないのに、休み時間に、廊下などにモップをかけてくれる先生と子どもたちを見かけるようになってきました。

校長 石川 満

